

3. 解体工事

(3) 有害物質の除去

② アスベスト含有建材について

■ 石綿含有仕上塗材

- 1) 密封養生、作業員出入口設備設置
- 2) 負圧除塵装置設置
- 3) 飛散防止剤散布、仕上塗材撤去
- 4) 飛散防止剤散布、清掃
- 5) 除去材は専用の廃棄袋に梱包し、石綿産業廃棄物として関係法令に基づき、適切に処分

密封養生完了状況



撤去後飛散防止剤散布状況



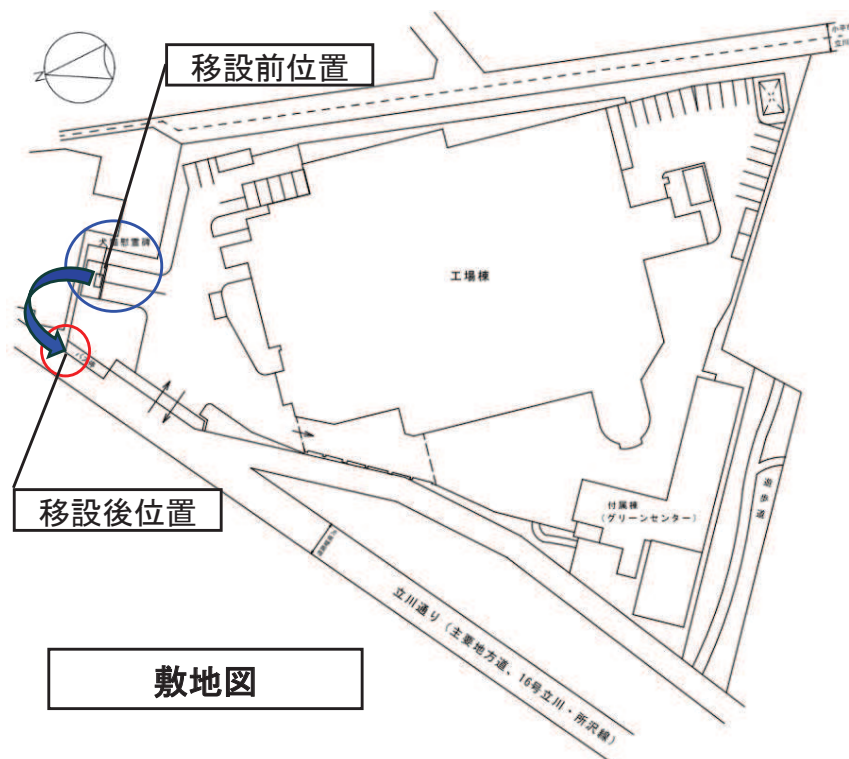
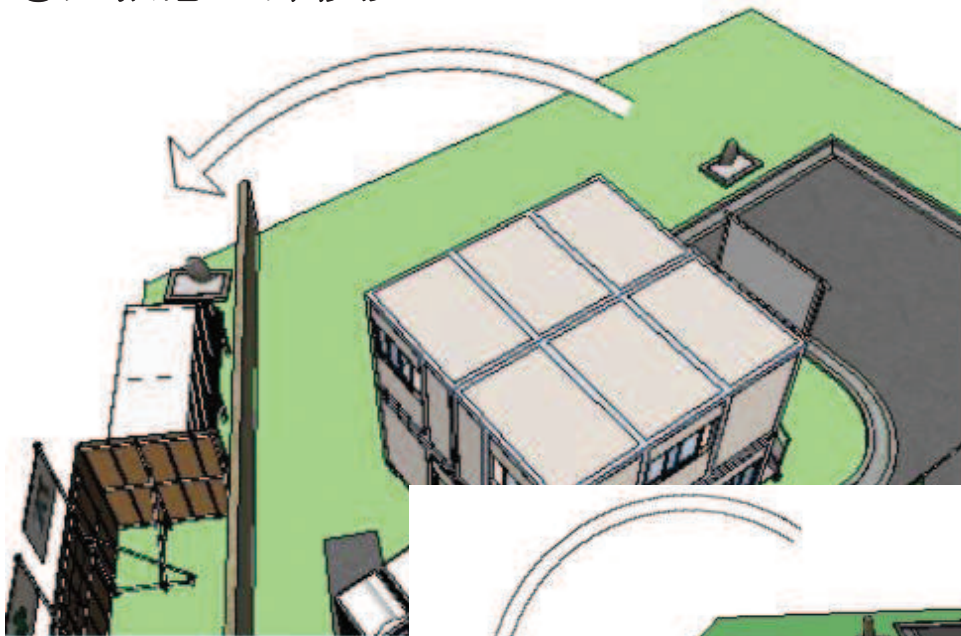
石綿含有仕上塗材撤去状況



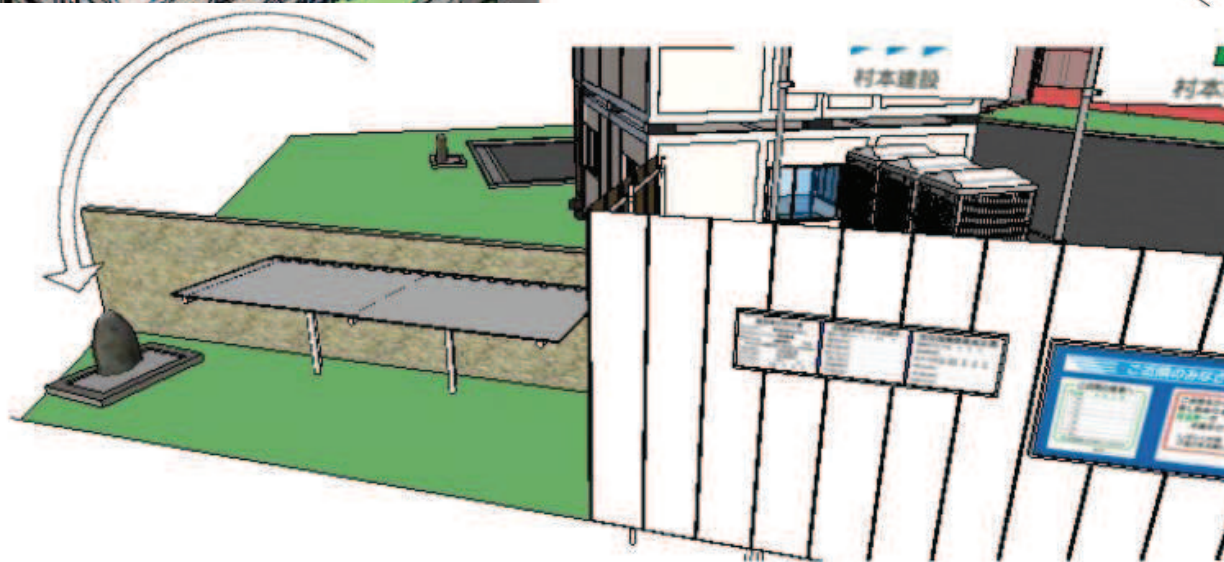
3. 解体工事

(4) 解体の手順

① 犬猫慰霊碑移設

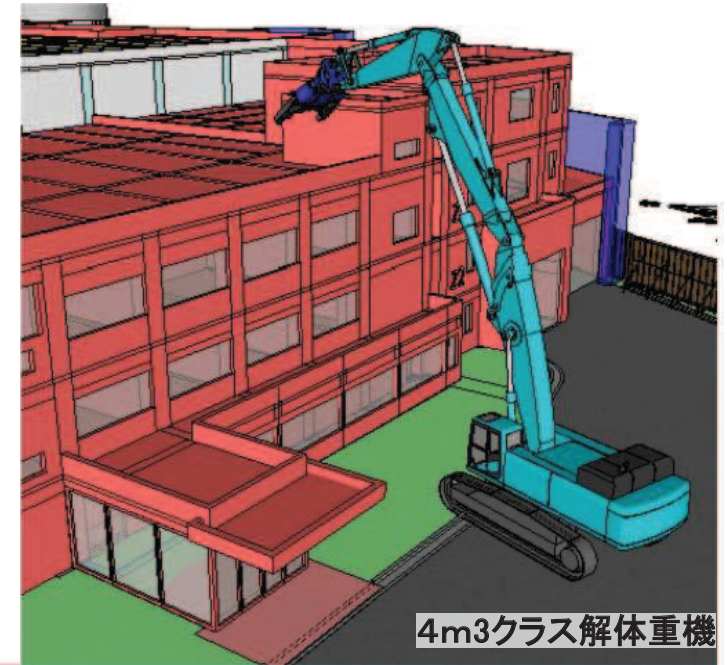
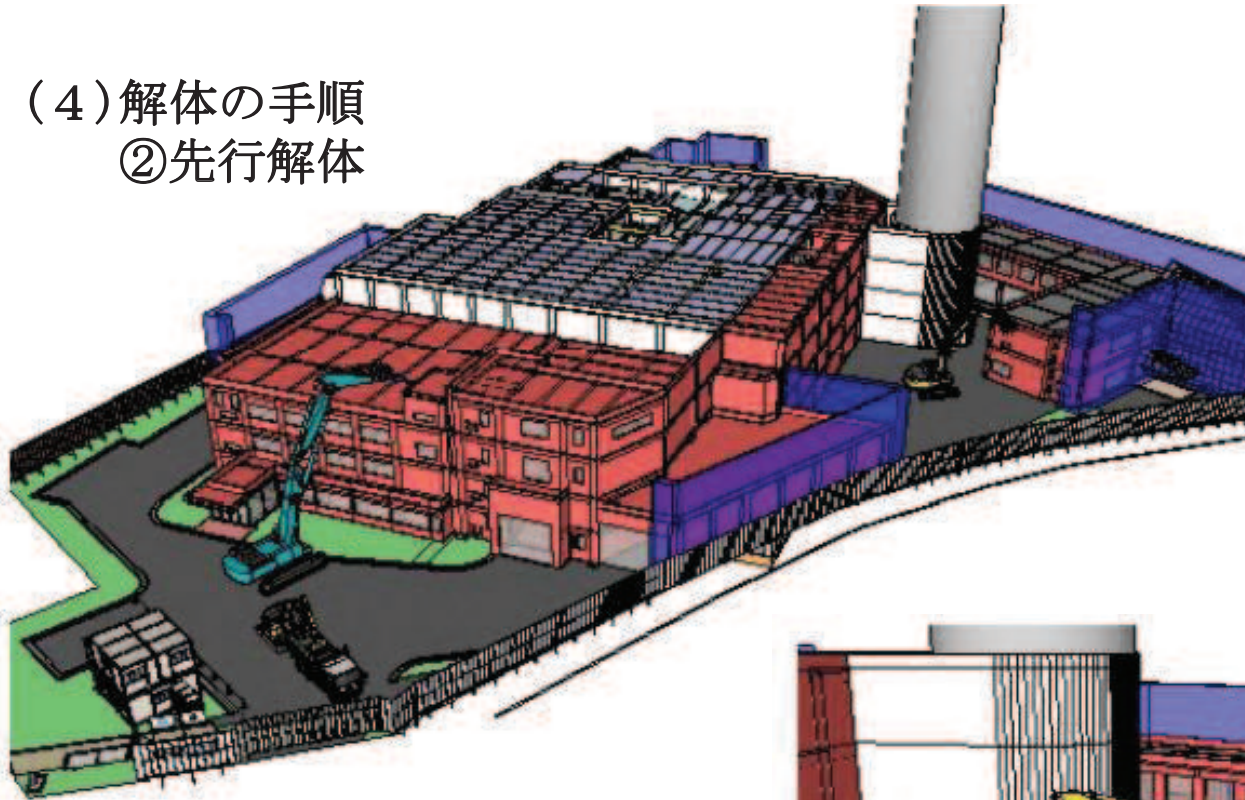


現場北側にある
『犬猫慰霊碑』を
現場北西側に移設します。



3. 解体工事

(4) 解体の手順 ② 先行解体

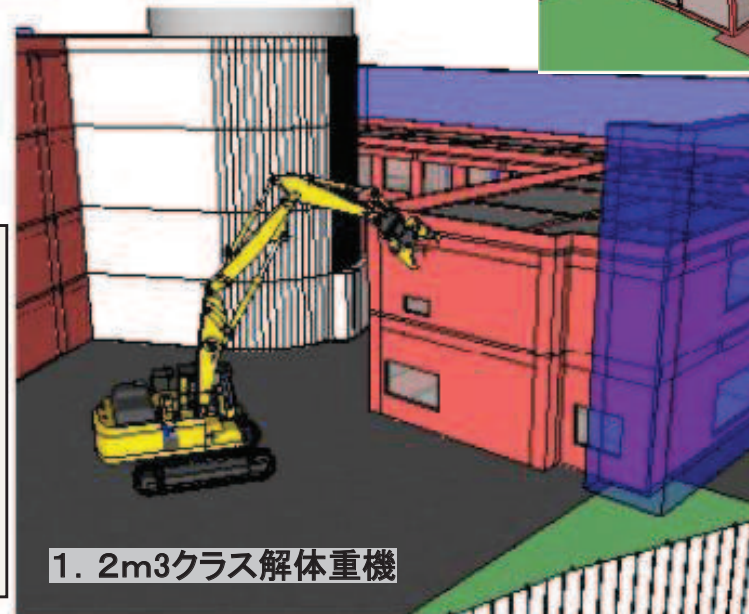


4m3クラス解体重機

本解体に着手する前に、工場棟を覆うためのテント架設に影響がでる箇所(赤い部分)の先行解体を行います。

解体箇所には解体用足場(青い部分)を架設し、大型重機を搬入します。

解体時に発生したコンクリートガラは2次解体後に地下部の一時的な埋戻し材として利用します。

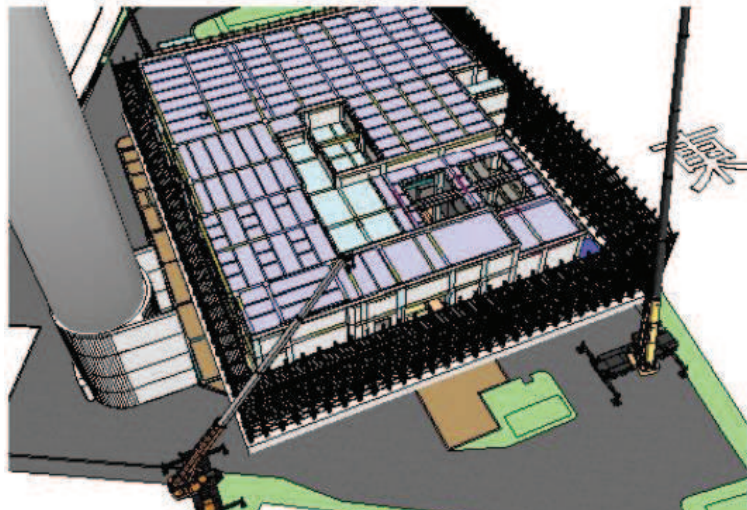


1. 2m3クラス解体重機

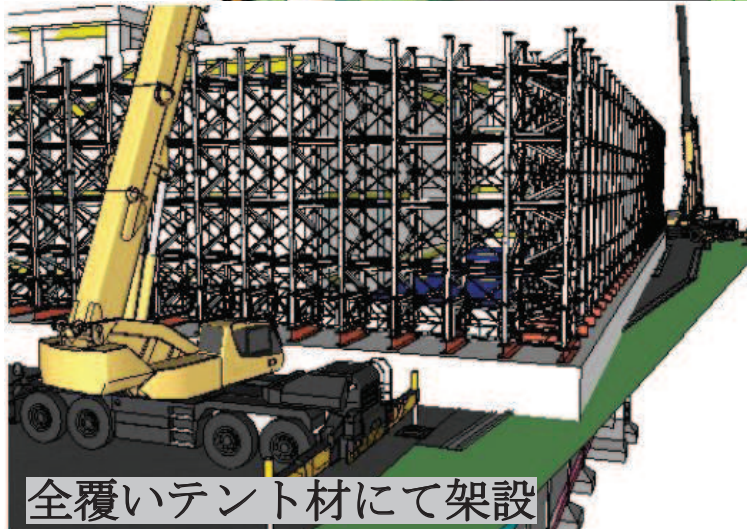
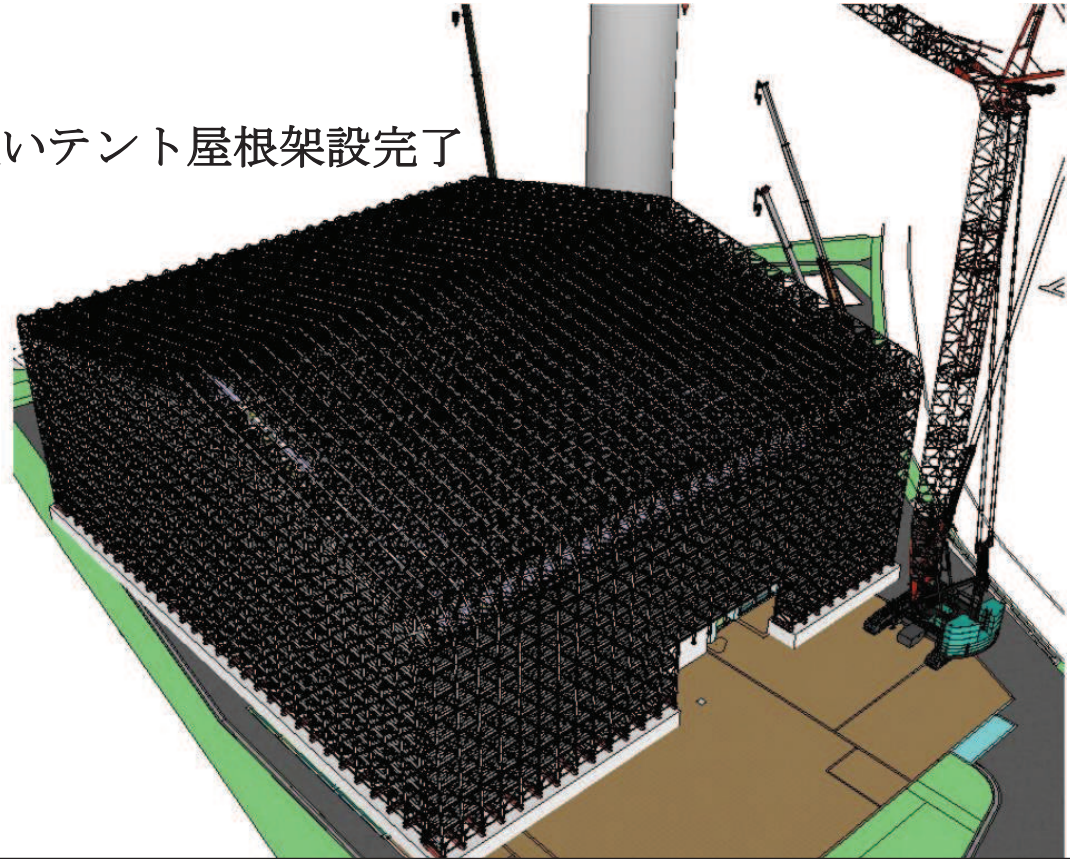
3. 解体工事

(4) 解体の手順

③ 全覆いテント架設



全覆いテント屋根架設完了



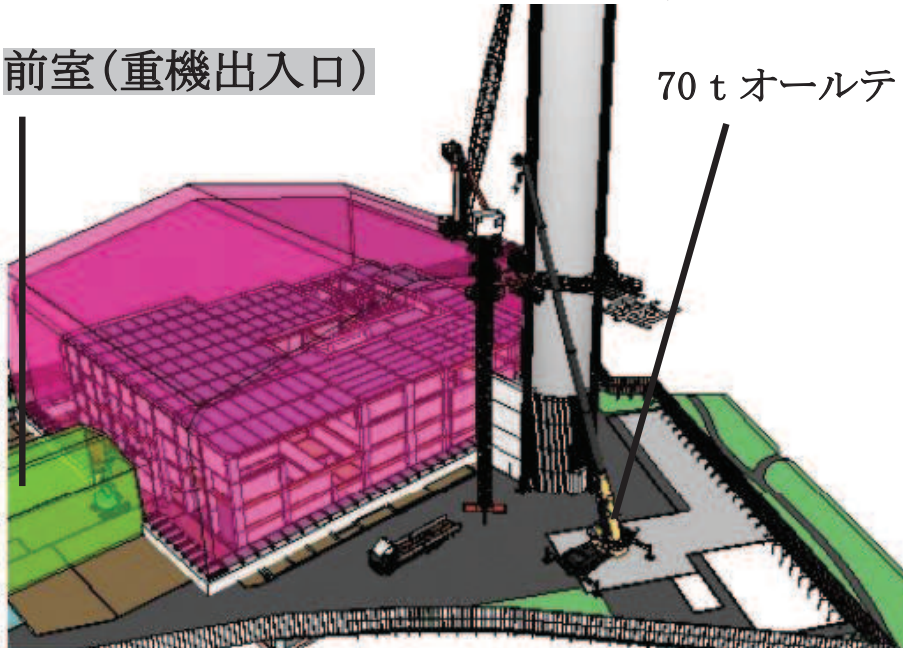
先行解体後、工場棟を覆うためのテント架設を行います。コンクリートを打設して全覆いテントの基礎とし、全覆いテント材(左図参照)を500tクローラクレーンを中心に架設していきます。架設期間中はテント材が倒壊しないよう補強対策を講じながら作業を進めていきます。テント架設作業においては工事区画外へ資材等が飛散したり通行されている方々に対してご迷惑をかけることのないよう、安全を確保しながら作業を行ってまいります。補強壁は内部に防音パネルを設置し、屋根まで完了(右上図参照)したのち、ターポリンシートを全体に張って、全覆いテント組立完了となります。

3. 解体工事

(4) 解体の手順

④ タワークレーン・移動昇降式足場組立

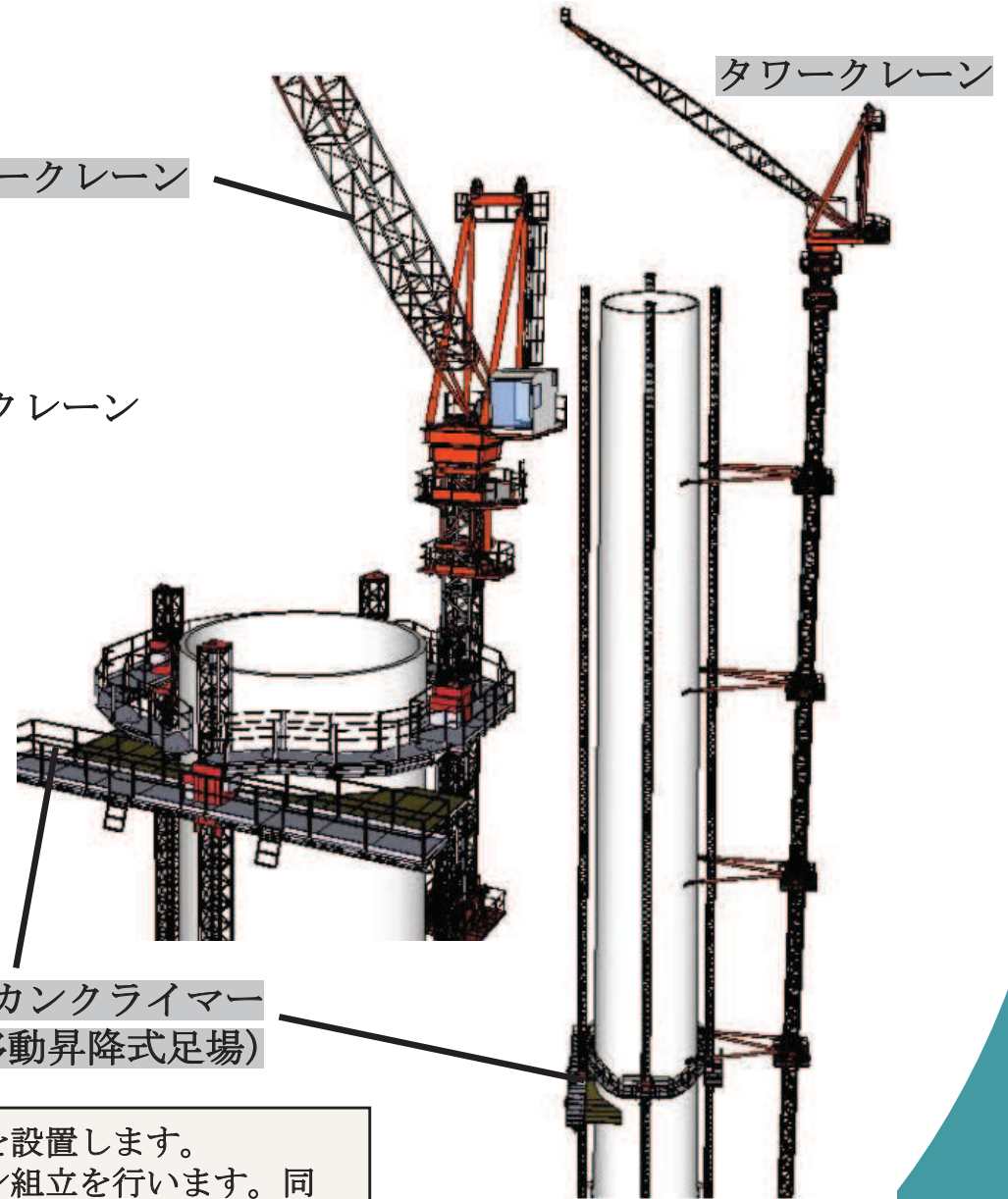
前室(重機出入口)



70 t オールテレーンクレーン

タワークレーン

タワークレーン



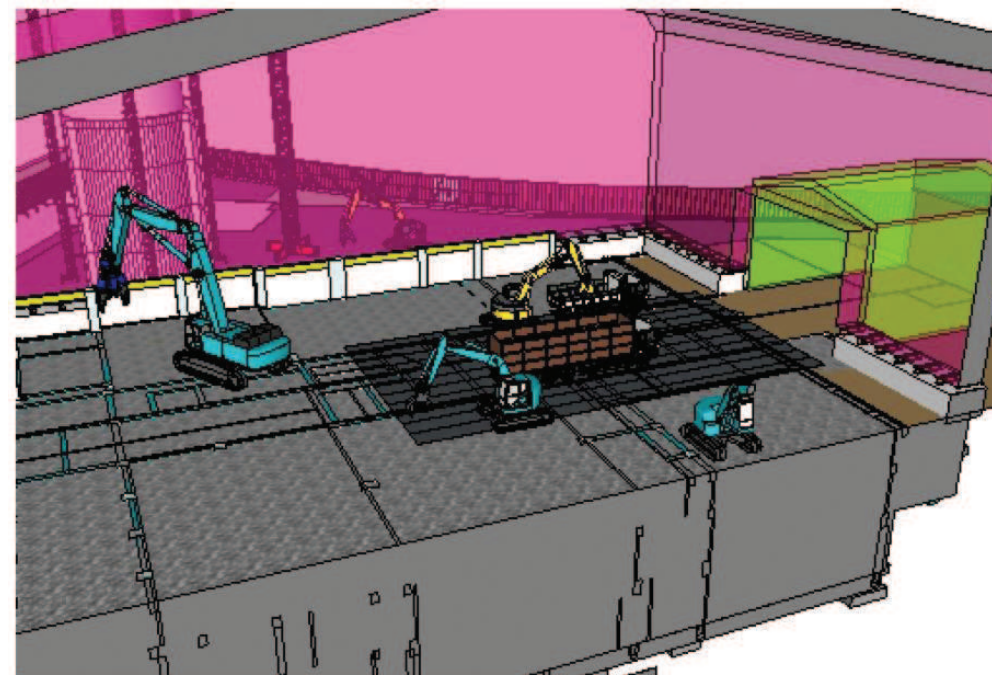
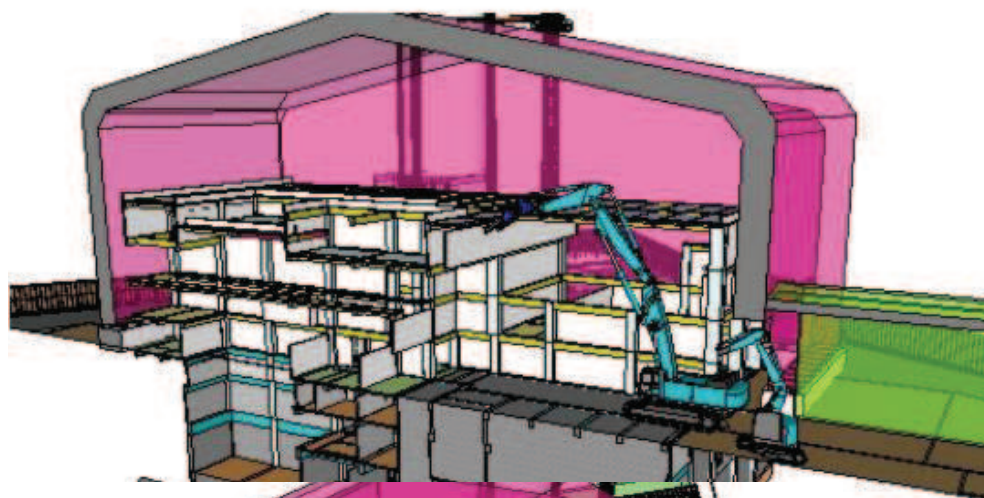
スカンクライマー
(移動昇降式足場)

全覆いテント架設後、同じように前室(重機入口・上図参照)を設置します。
70 t オールテレーンクレーンを煙突周囲に据え、タワークレーン組立を行います。同
時に、煙突外周に移動昇降式足場を設置していきます。

3. 解体工事

(4) 解体の手順

⑤ 大型重機による工場棟解体



大型重機にて、テント内での工場棟解体を行います。上階部より躯体内部を解体し外壁を解体する順序で1階まで進めていきます。この時、解体時に発生したコンクリートガラは前工程での先行解体時に埋戻し材が足りなかった箇所に重点していきます。

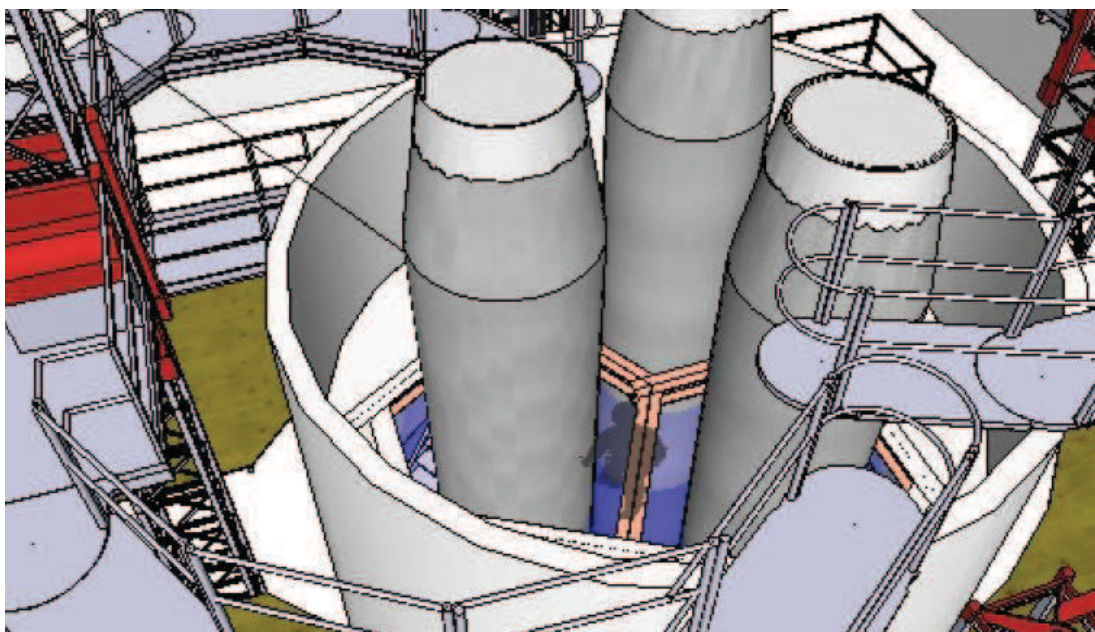
十分に充填された後に発生したコンクリートガラは、現場外に搬出されます。

搬出車両は現場入口手前に設置したタイヤ洗浄設備にて場内の土や汚れを落としてから現場外へ出ていきます。

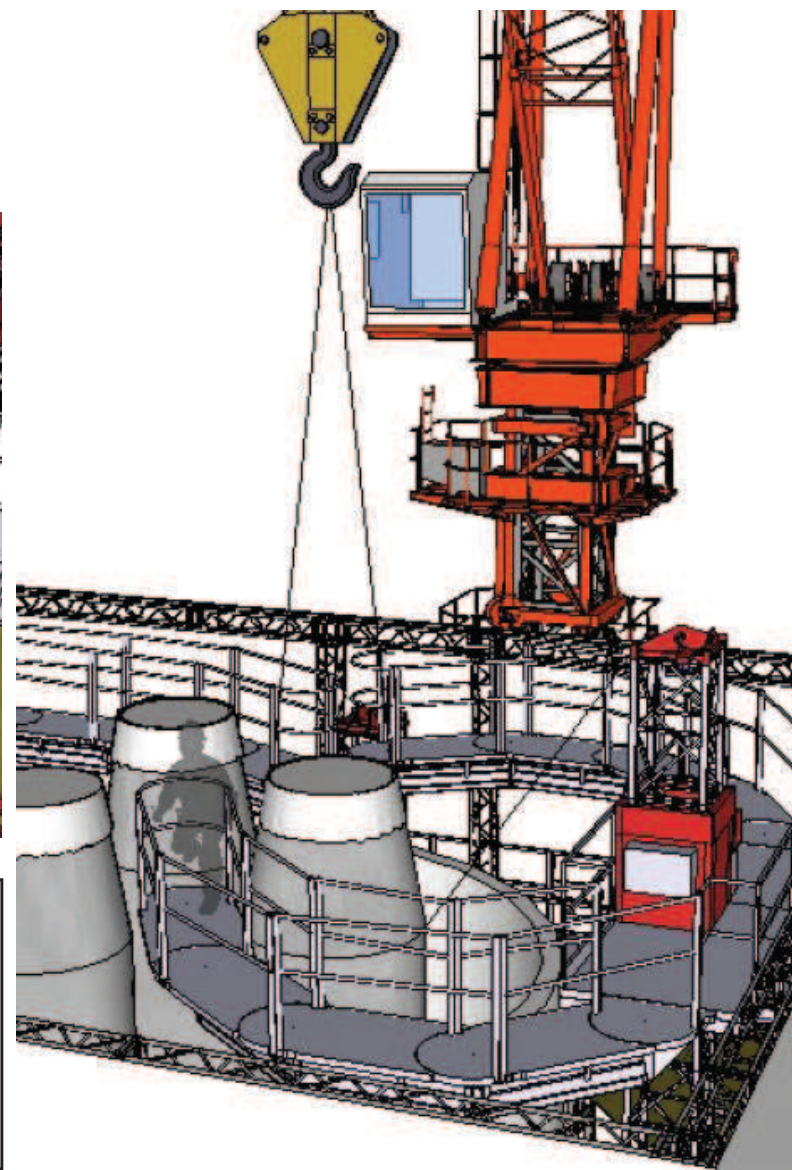
3. 解体工事

(4) 解体の手順

⑥ 煙突 内筒解体



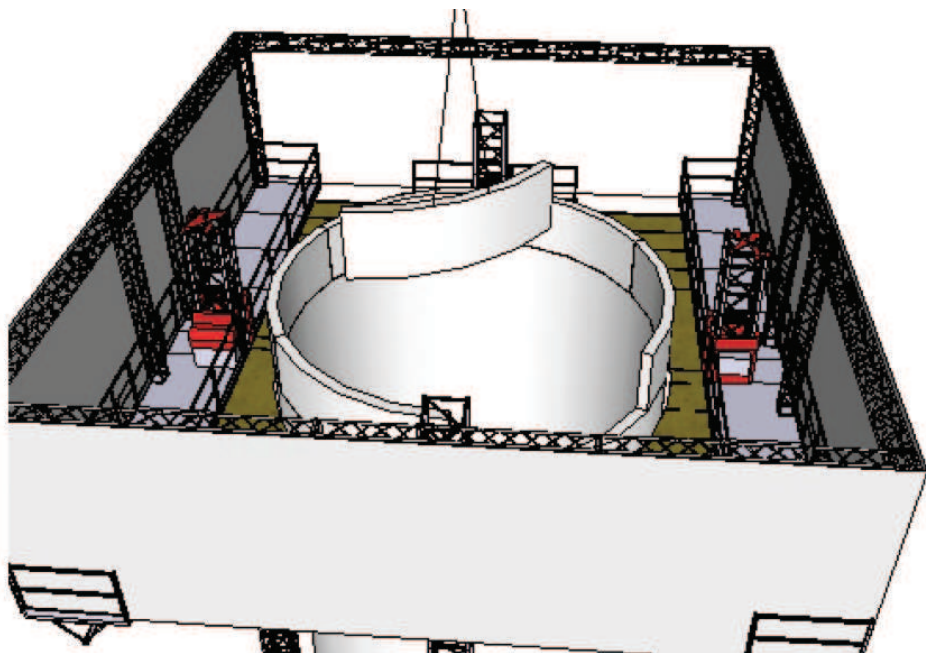
内筒を吊り上げる準備をした後に内部ステージより1.2m高い箇所から切断し、タワークレーンにて吊り取り撤去を行います。吊り上げた内筒は敷地内の地上に吊り降ろし、降ろした後は重機にて小さく切断後、現場外へ搬出します。上記を繰り返し地上まで解体を進め、内筒を撤去します。



3. 解体工事

(4) 解体の手順

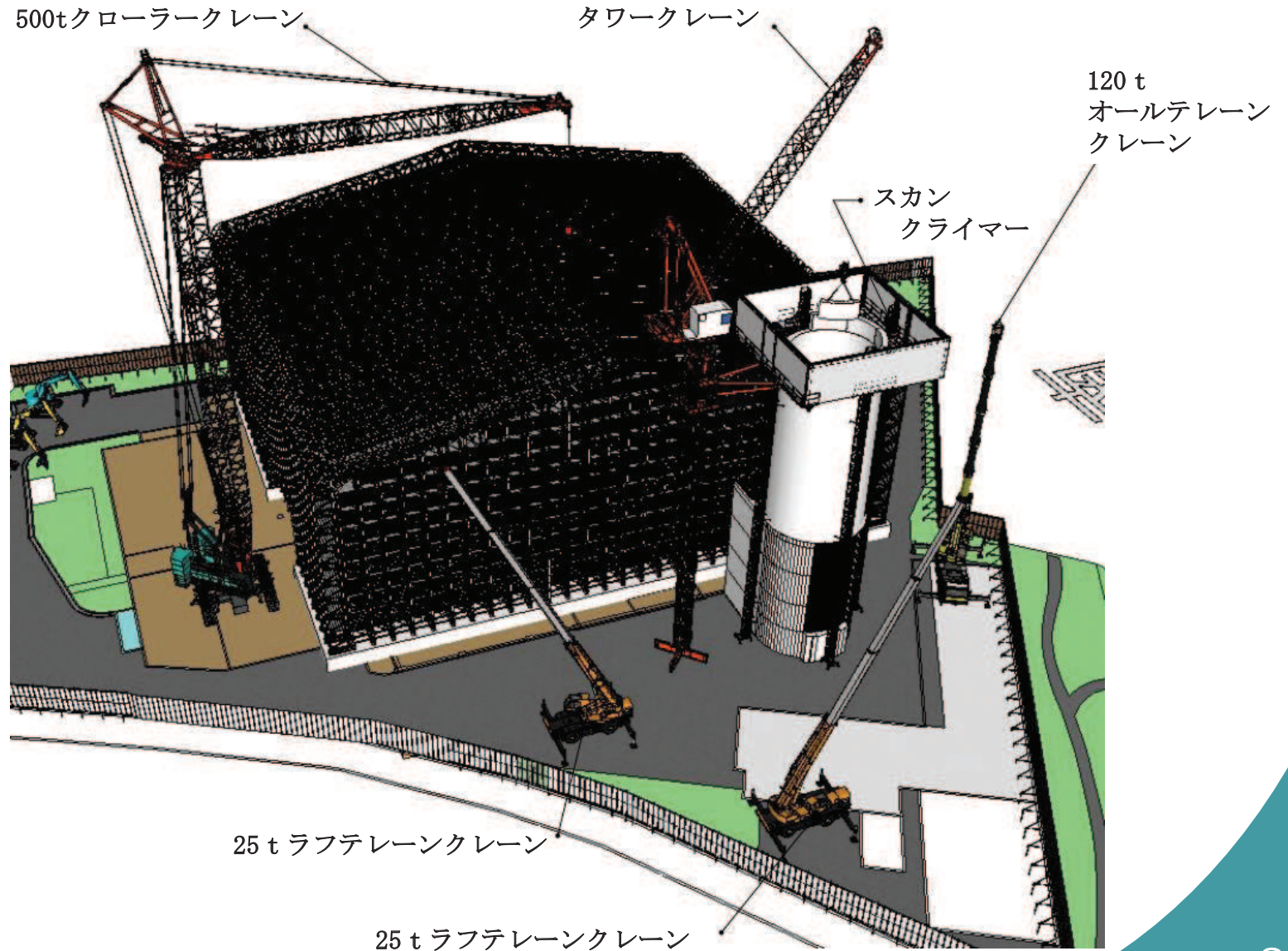
⑥ 煙突 外筒解体



内筒撤去後、外筒はボックストラスを使用して粉塵飛散防止シート養生をし、ウォールソー及びコア、ワイヤーソーにて小さく切断し、タワークレーンにて煙突内部に降ろします。
煙突内部に降ろした解体材はフォークリフトで全覆いテント内に移動し、テント内で解体重機によって小割します。
上記手順で外筒解体を地上まで進めていきます。

3. 解体工事

(4) 解体の手順 ⑦ テント解体

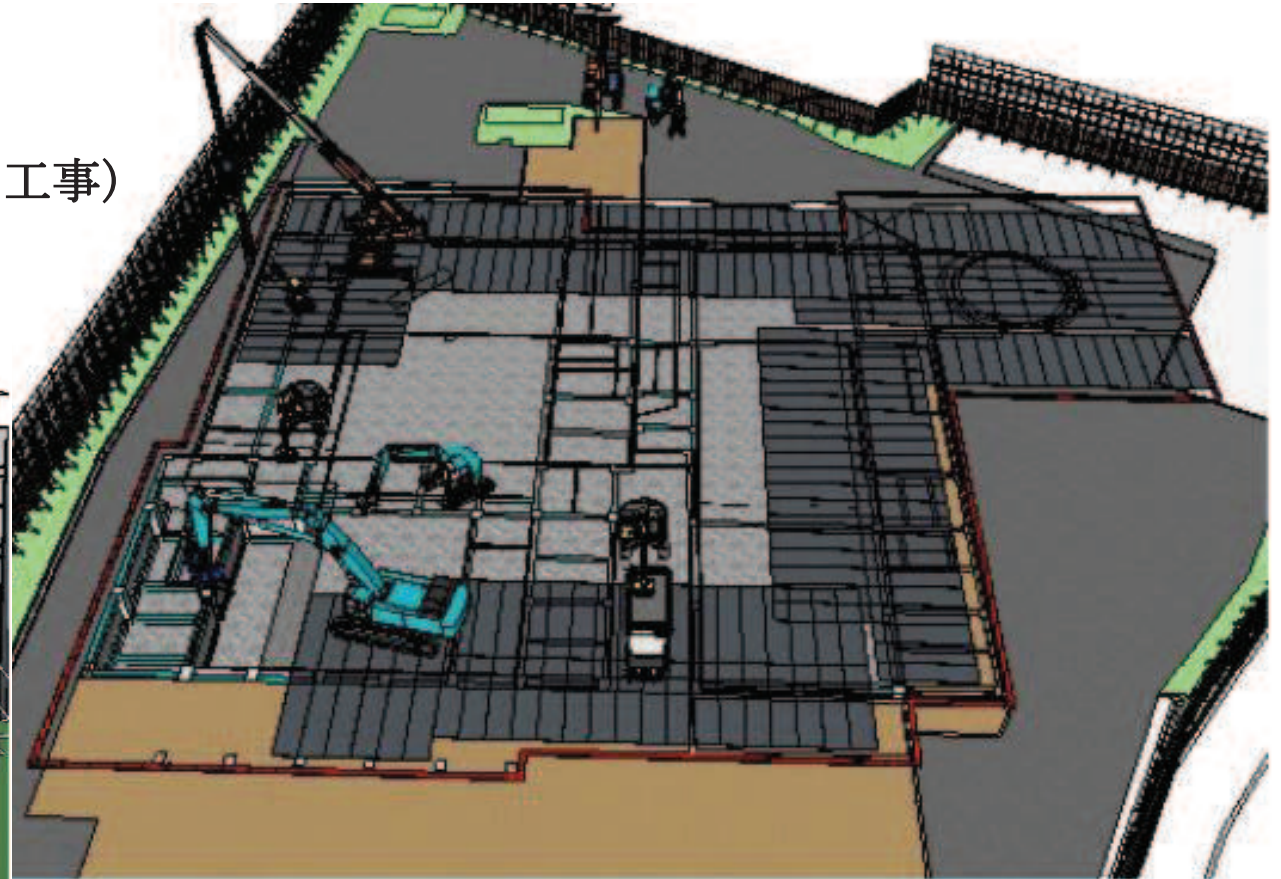
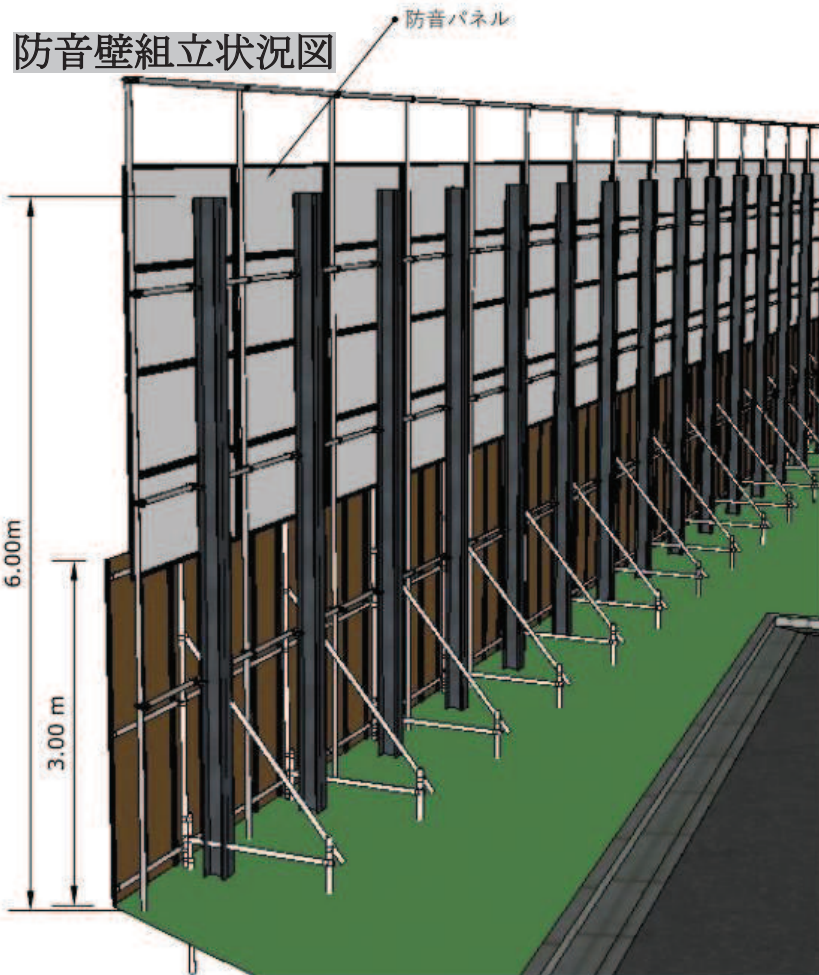


テントの解体手順は組立
手順の反対で行います。
屋根シートを取り外し後、
屋根から順に解体を行いま
す。解体したテント材は地
上にて小ばらしし、梱包、
搬出を行います。

3. 解体工事

(4) 解体の手順

⑧ 地下解体(防音壁設置/山留工事)



テントの解体完了後、地下解体に先立ち、防音壁(左図参照)の設置を行います。

地上から6mの高さまで山留材を設置し、仮囲いの上に防音パネルを取り付けます。

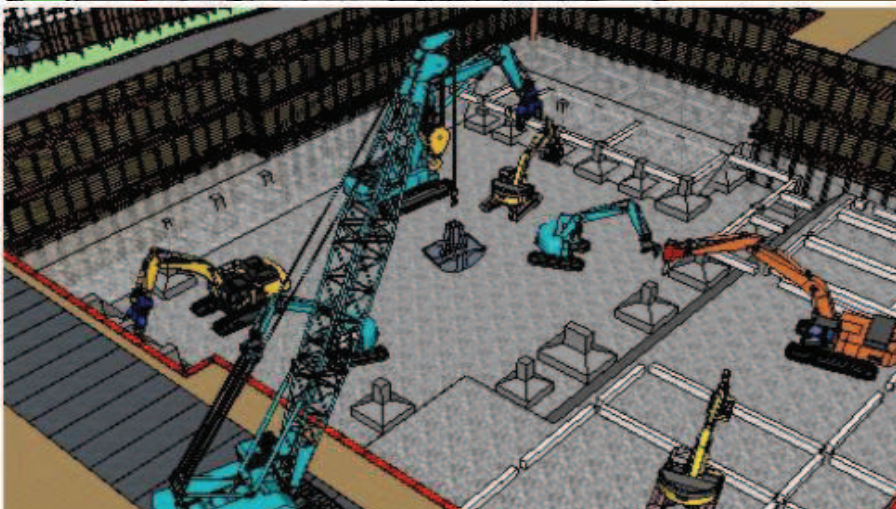
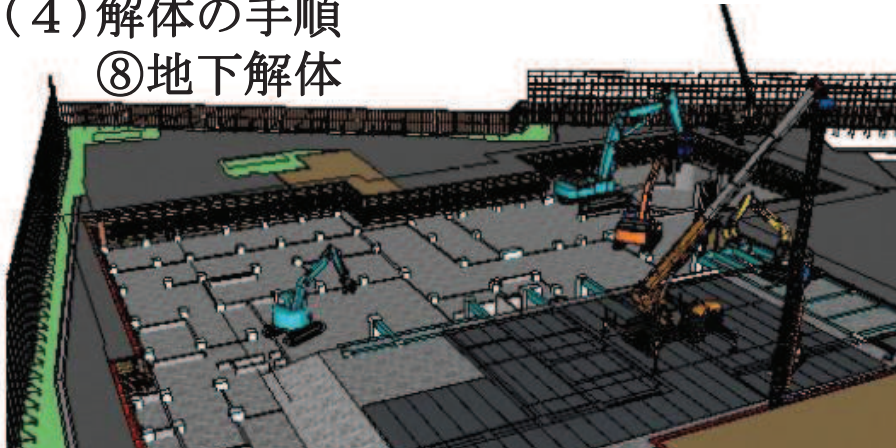
地下解体工事の準備として、山留工事を行います。

アースオーガで掘削し、発生土をミニコンボにて集積します。埋め戻したコンクリートガラを地上より3m掘削し搬出します。

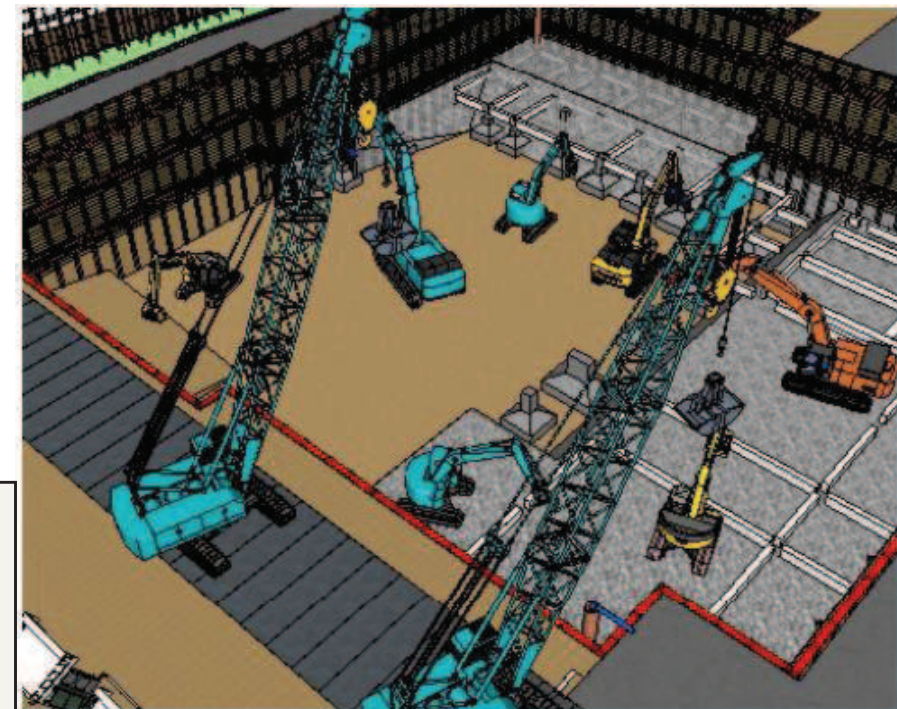
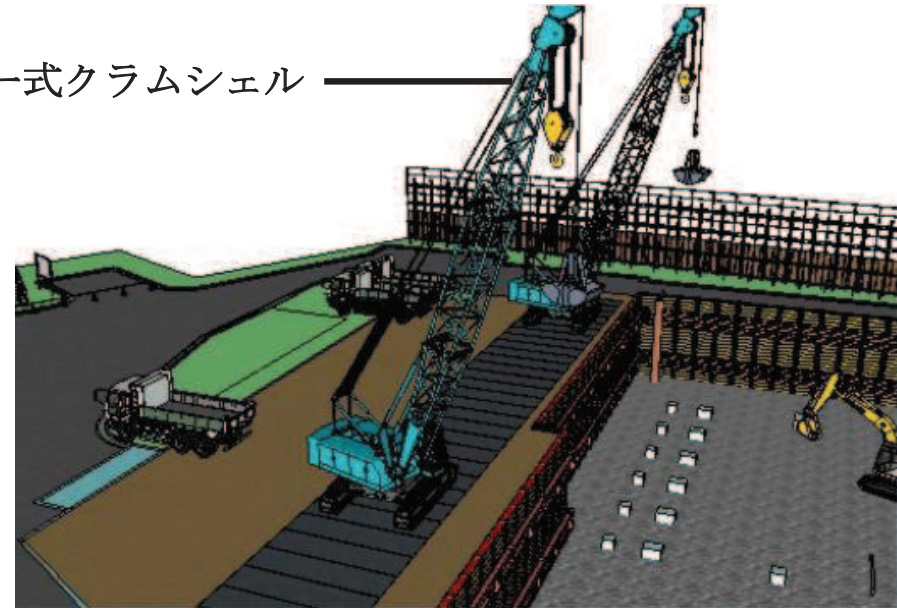
矢板を入れた後に切梁を設置します。

3. 解体工事

(4) 解体の手順 ⑧ 地下解体



ワイヤー式クラムシェル



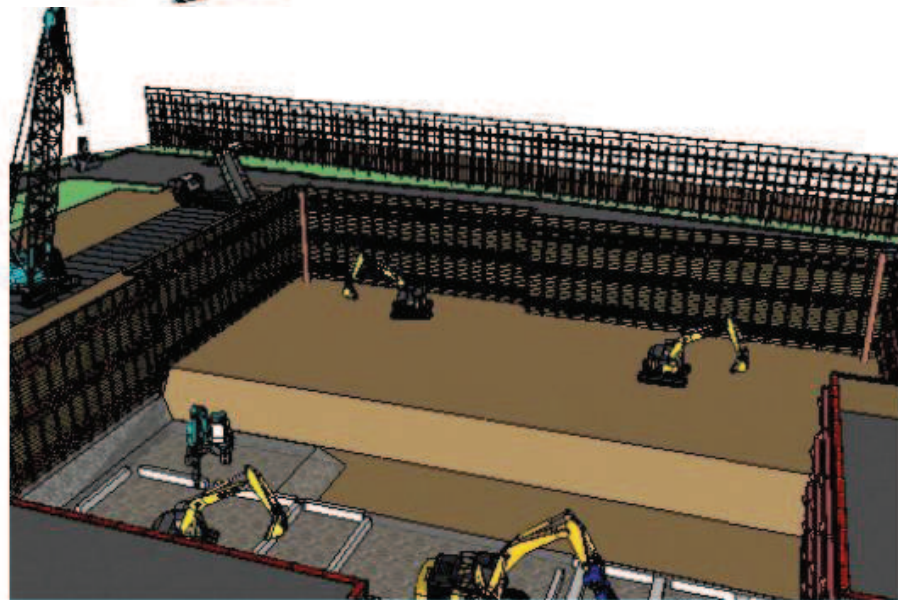
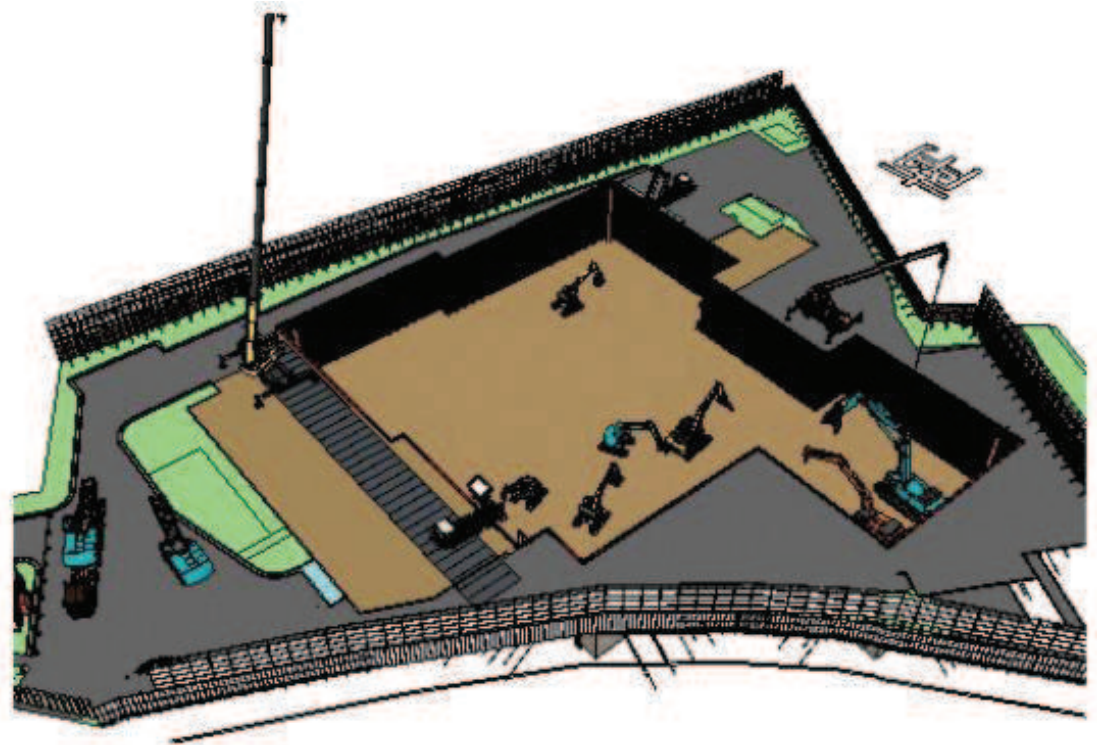
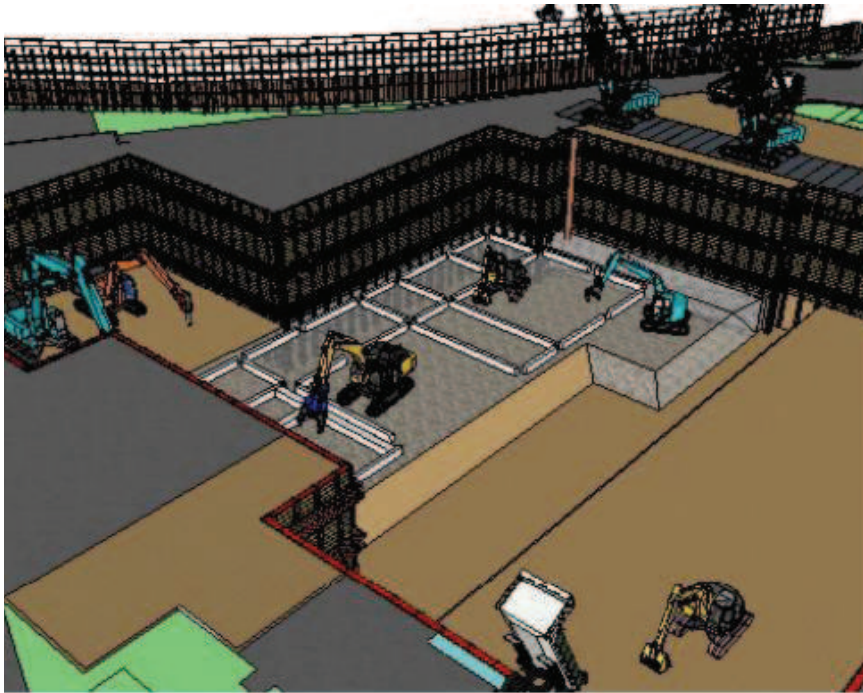
地下解体が進むとワイヤー式クラムシェルを用いて解体発生材の搬出を行います。コンクリートガラの掘削が完了すると耐圧盤・地中梁・基礎の順番で解体を進めます。

解体材は残土とコンクリートガラをふるい分け、ワイヤー式クラムシェル付近に集積し、搬出を行います。

3. 解体工事

(4) 解体の手順

⑨ 残土搬入／埋戻し



耐圧盤・地中梁・基礎の解体が完了し、発生材であるコンクリートガラを搬出した後、ワイヤー式ラムシェルを搬出します。

山留材の撤去及び現場発生土等にて埋戻しを行います。